

1 学校教育目標							
(1) 個性豊かに持てる力を十分に発揮する、活気あふれる学校 (2) 健やかな身体と思いやりの心を育む、笑顔あふれる学校 (3) つながりと協調の心で家庭や地域社会の信頼に応える、親しみあふれる学校							
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)							
総合支援学校として、多様な障害やニーズへの対応が求められ、視覚障害教育の専門性を継承しつつ各障害に対する専門性を高めていくことが重要である。そのための研修を行う時間の確保が課題となっている。学部及び分学間の連携強化や情報共有を密に図りながら、組織的な取組を強化し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育活動を推進していくこととする。							
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題							
<チャレンジ目標> 笑顔で元氣よくあいさつ (1) 視覚障害教育センター・聴覚障害教育センター的機能の整備・拡充 (2) 一人ひとりの実態に応じた教育内容の充実 (3) 障害の実態に即した幼児児童生徒の安心安全な教育環境の整備 (4) 障害の多様化に対する教員の専門性の向上 (5) 協働性・同儕性による学校の一体感の醸成 (6) 確かな学力と生活力を定着させるための授業力の向上 (7) 「心をつなぐ」教育の推進							
4 自己評価							5 学校関係者評価
領評価値	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
総務	学校HPの充実	・必要な情報や活動を提供するため、こまめに更新し、閲覧回数を増やす。	4 年間閲覧回数 6000回 3 年間閲覧回数 5000回 2 年間閲覧回数 4000回 1 年間閲覧回数 3000回				
教務	多様な障害の状況に対応した指導支援の充実	・幼児児童生徒の実態に応じた教育課程を編成する。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
		・保護者、教員の意見を聞き、個別の指導計画の更なる改善と活用を促進する。 ・昨年度に引き続き幼児児童生徒が使いやすい図書室の設備環境を整える。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
生徒指導	学校行事の充実と登下校時の安全指導	・行事の内容を提示し、幼児児童生徒の実態を踏まえた上で、事前に意見が反映されるような仕組みを構築する。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
		・年間計画だけでなく、通学路での街頭指導を随時実施し、交通安全意識の向上を図る。	4 十分に実施できた。 3 年間計画は達成できた。 2 年間計画を達成できなかった。 1 十分に実施できなかった。				
保健安全	心身の健康の保持増進と安心安全な生活環境の改善	・危機管理マニュアルの提示、防犯ブザーやPHSなどを活用することで緊急時避難対応の体制を整える。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
		・スクールカウンセラー、学校医やSSWと連携して、いじめ対策や教育相談活動の充実を図る。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
進路	キャリア教育の充実	・幼児児童生徒の障害の多様化に伴い、一人ひとりの実態や発達段階に応じたキャリア教育を推進する。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
		・将来の就労・生活自立に結びつく実践的な授業(作業学習)や現場実習を実施する。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
研修	障害の多様化に対応した教育活動の実践	・様々な障害に関する校内グループ研究を行うとともに、ミニ研修会を企画し実施する。また、研修出張の復讐会を実施することにより、情報の共有に努める。	4 年間20回以上実施できた。 3 年間15回以上実施できた。 2 年間10回以上実施できた。 1 年間10回未満であった。				
視覚障害教育	校内外における視覚障害理解の推進	・視覚障害教育に関する研修や視覚障害幼児児童生徒への支援を担当者と協力して行う。	4 十分達成できた。 3 達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
聴覚障害教育	聴覚障害教育に関する相談・支援体制の構築	・ポスターやリーフレットの配布、活動内容のホームページへの掲載、聴覚障害教育関係機関連携協議会の開催等を通じ、聴覚障害教育センターの活動について理解促進を図る。	4 山口県西部地域の各市の関係機関と十分連携することができた。 3 山口県西部地域の各市の関係機関とほぼ連携することができた。 2 山口県西部地域の各市の関係機関とあまり連携することができなかった。 1 山口県西部地域のどの市の関係機関とも連携することができなかった。				
	校内支援体制の構築	・本校に在籍する幼児児童生徒に対し、聴覚管理や発音明瞭度検査を実施したり、学校行事における情報保障を行ったりする。	4 聴覚管理や検査、情報保障が十分できた。 3 聴覚管理や検査、情報保障がほぼできた。 2 聴覚管理や検査、情報保障があまりできなかった。 1 聴覚管理や検査、情報保障ができなかった。				
寄宿舎	個に応じた支援の充実	・学部や家庭と情報を共有し、必要且つ適切な支援を行う。また、必要に応じて関係機関との連携を図る。	4 十分達成できた。 3 ほぼ達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
事務室	障害の実態に即した幼児・児童・生徒の安心安全な教育環境の整備	・老朽化した校内各種施設の迅速な修繕や点字ブロックの適切な配置を行う。	4 80%以上整備できた。 3 60%以上整備できた。 2 40%以上整備できた。 1 20%以上整備できた。				
業務改善	学校の組織等						
	学部の特性を生かした学校行事の在り方や他学部との連携を考えた見直しへの組織的な取組	・学部間の幼児児童生徒の交流を図る。 ・それぞれの行事について、意義・目的を見直す。	4 十分達成できた。 3 ほぼ達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
	日常的な業務	・今年度作成した校内掲示板やメールの有効的な活用を目指す。	4 十分達成できた。 3 ほぼ達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				
	勤務状況						
	ノー残業デーの設定	・ノー会議デーの日に合わせてノー残業を呼びかける。	4 十分達成できた。 3 ほぼ達成できた。 2 やや不十分であった。 1 不十分であった。				